



食材の宝庫!!エクアドルより③



遠藤由貴

¡Hola! (こんにちは!)

日本では梅雨が終わり、冷たいものが恋しくなってきた頃でしょうか？私の任地グアランダは雨季が終わり、乾季に入ったようです。といってもまだ雨の日も少なくありません。

最近では自炊のレパートリーも増え、食生活が充実しています。自炊の腕と比例して体重も上向きに。最近、上り坂が苦しくなったような気がします。

もうすぐエクアドルに赴任して1年が経ちます。もう1年、まだ1年。まだまだ完璧とは言えませんが、エクアドルの文化や習慣、言葉にも少しずつ慣れ、任地にも溶け込んできたのではないかと思います。今後は、配属先の人々だけでなく任地の人も巻き込んだ活動をしていきたいです。

今回は、

- ・「紙芝居に興味津々？」
- ・「大きな夢を背負って」 について紹介します。

(次ページ)

◆紙芝居に興味津々？◆

以前、同期隊員の任地で小学校教諭・看護師・栄養士と協力して、食育を実施しました。この時に行ったのが、砂糖がもたらす病気についての実験や説明、バランス良くご飯を食べようと促す紙芝居でした。

今回は任地グアラングの栄養士の研修生と共に、自作の紙芝居を持って小学校に赴きました。大人しく聞いてくれる子ども、教室をチョロチョロ動き回っている子ども。こんな時に小学校教諭の隊員がいたらなと自分の力不足を実感しました。

今回の訪問に同行していた歯科医は、子ども達の歯のチェックを行っていました。エクアドルでは歯磨きをすることが習慣化されていない家庭が多く、歯ブラシは持っていても歯磨きをしたのは数日前…なんてこともあるようです。そのせいで歯には大きな穴が開き、治療中に涙することも。

「痛いのが嫌いだよね？だったら歯磨きしようね。」なんて言っている間にも、飴を舐めたりジュースを飲んだりしながら話を聞く子ども達。虫歯や肥満など、すぐに症状が現れないことに対して指導するのは難しいですが、少しずつ健康的な生活が習慣化されるように手助けしていきたいです。



◆大きな夢を背負って◆

3ヶ月ごとに隊員が入れ替わる、協力隊。思い出の多い先輩隊員の方々がどんどん帰国していきます。今回帰国されたのは、大変お世話になった同郷の谷口隊員。同じ高校出身でしたが、高校時代に一度も話したことはなく、それでも本当に良くしていただきました。そして、帰国してからの大きな夢を熱く語る姿に、自分も頑張らなければと原動力を分けていただきました。

そんな先輩隊員の方々との最後の夕食。隊員の集う連絡所で、本場イタリアに在住経験のある谷口隊員とピザを作りました。

スーツケースにも飛行機にも収まりきれないほどの大きな大きな夢を抱え、輝く笑顔とともに日本へ帰国されました。

